

安全データシート

1. 製品名及び会社情報

製品名 : Toner Cartridge PTC A410W1-22
意図される用途 : 電子写真機器用
情報提供者 : 会社名 株式会社アイメックス岡山工場
: 住所 〒709-2124
岡山県岡山市北区御津高津 1630-8
: 担当部門 技術部
: 電話 086-724-4402
: ファックス 086-724-2077
: 電子メール msds@imex-net.co.jp
: 緊急連絡先 086-724-4402 (月～金 8:30～17:00)

作成日 : 2021年12月9日
改訂日 :

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : GHS 分類基準上、危険有害性のある混合物には分類されない。
GHS ラベル要素 : なし
他の危険有害性 : 粉塵爆発のおそれ

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
成分及び含有量 :

成分名	含有量	CAS No.	化審法	労働安全衛生法	
			官報公示番号	官報公示番号	通知対象物質
ポリエステル樹脂	40-50%	(非開示)	既存	既存	非該当
酸化チタン	40-50%	13463-67-7	(1)-558	既存	通知物質*
ワックス	1-4%	(非開示)	既存	既存	非該当
非晶質シリカ	1-4%	67762-90-7	(1)-548	既存	非該当
有機亜鉛錯塩**	<1%	42405-40-3	(3)-3036	既存	非該当

* 「15. 適用法令」参照

国連分類 : 該当せず

国連番号 : 該当せず

**3,5-ジ-tert-ブチルサリチル酸亜鉛

4. 応急処置

- 吸入した場合 : 直ちに空気の新鮮な場所に移動、更にもうがいをを行う。
呼吸困難を伴っている場合には、人工呼吸などの応急処置をとり、直ちに医療処置を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : きれいな水で洗い流した後、石鹸を使い洗浄する。
- 眼に入った場合 : 直ちにきれいな水で最低 15 分以上洗浄し、眼科医にて治療のこと。
- 飲み込んだ場合 : 直ちにきれいな水で口内を洗浄し、医療処置を受ける。

5. 火災時の措置

- 使用可能な消火剤 : 噴霧水、炭酸ガス、粉末
- 使ってはならない消火剤 : 特になし
- 特有の危険有害性 : 空中に飛散した場合、粉塵爆発のおそれあり。
- 特有の消火方法 : 粉末の飛散を促進させないように注意する。
- 消火を行う者の保護 : 蒸気・煙の吸入は避けること

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 作業時は必要に応じ防塵マスク等の保護具を使用。
- 環境に対する注意事項 : 下水道や河川への漏出を防ぐ。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材
: ほうきなどで飛散しないようにかきあつめ、濡れ雑巾などで拭き取る。
掃除機等を用いる場合、必ず 1 μ m 未満の微粉末対応かつ防爆仕様の機器を使用すること。

7. 取扱及び保管上の注意

- 取扱い : 防塵マスクなどの保護具を使用して作業を行うこと。
粉塵が高濃度になると考えられる場所では粉塵爆発の危険があるため、高温体、火花、静電気等の着火源になるものを近づけないこと。
- 保管 : 屋内保管。直射日光及び高温多湿の場所を避けること。
気密容器に入れること。

8. 曝露防止及び保護措置

- 設備対策 : 粉塵の吸入を防ぐため、局所排気装置をつける。
- 管理濃度 : 該当しない。
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会 第3種粉塵 (総粉塵)8mg/m³
(吸入性粉塵)2mg/m³
ACGIH 粒子状物質 (総粉塵)10mg/m³
(吸入性粉塵)3mg/m³

保護具

- 呼吸器の保護具 : 防塵マスクを使用すること。
- 眼の保護具 : 保護眼鏡の着用が望ましい。
- 手の保護具 : ゴム又は皮などの手袋の着用が望ましい。
- 皮膚及び身体の保護具 : 静電気が発生しづらい着衣が望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	: 固体 (粉体)
色	: 白色
臭い	: かすかなプラスチック臭
融点	: 約 150°C (軟化点)
有機亜鉛錯塩	: 242-244°C
沸点	: データなし
可燃性	: データなし
有機亜鉛錯塩	: 可燃性固体 区分 1
爆発限界(上限/下限)	: 高濃度で粉塵爆発の恐れがある。(爆発範囲のデータなし)
引火点	: 該当しない
有機亜鉛錯塩	: 400°C以上
自然発火点	: 該当しない
分解温度	: >200°C
pH	: データなし
動粘性率	: 該当しない
溶解度	: 水に不溶、トルエン・キシレンに部分的に可溶
有機亜鉛錯塩	: 水 187mg/l, アセトン 30%
分配係数	: 該当しない
(n-オクタノール/水)	
有機亜鉛錯塩	: $\text{Log}P_{ow}=2.32(20^\circ\text{C})$
蒸気圧	: 該当しない
比重	: 1.3-1.7
相対蒸気密度	: 該当しない
粒子特性	: 約 9.0 μm (D50)

10. 安定性及び反応性

安定性/反応性	: 安定
避けるべき条件	: 特になし
混触危険物質	: 特になし
危険有害な分解生成物	: 情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	: 区分に該当しない 吸入毒性; $\text{LC}_{50} > 5.19\text{mg/l}$ (実質上無毒である)* ※この値はテスト可能な最大粉塵濃度 経口毒性; $\text{LD}_{50} > 2000\text{mg/kg}$ (実質上無毒である)*
有機亜鉛錯塩	: 経口 $\text{LD}_{50} 1,800\text{mg/kg}$ (ラット)・急性毒性 区分 4 経皮 $\text{LD}_{50} > 2,000\text{mg/kg}$ 吸入 LC_{50} データなし
皮膚腐食性/刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分に該当しない
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原生	: データなし
発がん性	: 分類できない 酸化チタンは IARC によって、「グループ 2B(ヒトに対して発がん性があるかもしれない)」に分類される。しかし、ラット、マウスやハムスターを用いた肺への吸入曝露試験では、腫瘍発生が認められたのは、ラットに対する高用量投与だけである。又、ラットは他の不活性な難溶性粒子

においても同様の傾向が見られ、ラット特有の免疫性の作用が影響したと考えられる。欧州及び北米で行われたヒトに対する免疫学集団研究では、酸化チタンと発がん性の因果関係は示されなかった。従って、現時点では分類できないとした。

生殖毒性	: データなし 但し、カットオフ値以上の生殖毒性成分を含有せず
特定標的臓器毒性 (単回曝露)	: データなし
特定標的臓器毒性 (反復曝露)	: データなし
誤えん有害性	: データなし

*類似組成をもつ当社製品のデータによる

12. 環境影響情報

生態毒性	: 区分に該当しない
魚類	LC ₅₀ (96hr) >100mg/L (WAF) *
甲殻類	EC ₅₀ (48hr) >100mg/L (WAF) *
藻類	E _r C ₅₀ (0-72h) >100mg/L (WAF) *
有機亜鉛錯塩	: 魚類 LC ₅₀ (96hr) 4.39mg/l (RED KILLIFISH) LC ₅₀ (96hr) 5.5mg/l (RAINBOW TROUT) 甲殻類 EC ₅₀ (48hr) 0.73mg/l, NOEL 0.5mg/l 藻類 E _b C ₅₀ (72hr) 0.64mg/l, E _r C ₅₀ (0-24hr) 1.0mg/l, NOEL 0.2mg/l
残留性/分解性	: データなし
有機亜鉛錯塩	: 15%/28days
生態蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

*類似組成をもつ当社製品のデータによる

13. 廃棄上の注意

産業廃棄物として、関係法令を遵守して焼却または埋設処理を行う。
粉塵爆発のおそれがあるため、トナーカートリッジ、トナー、トナーの多量に付着した作業用具等を火中に投じないで下さい。「7. 取扱及び保管上の注意」も参照のこと。

14. 輸送上の注意

国連番号	: 該当しない
品名	: 該当しない
国連分類	: 該当しない
容器等級	: 該当しない
海洋汚染物質	: 該当しない
輸送上の注意	: 水漏れ、転倒、落下、衝撃を加えたりする等は、破袋の可能性がある ので、粗暴な取扱いをしないこと。直射日光及び高温の場所を避ける。(「7. 取扱および保管上の注意」も参照のこと)

15. 適用法令

労働安全衛生法	: 名称を通知すべき有害物 (第 57 条の 2) 酸化チタン
消防法	: 指定可燃物 (合成樹脂類) に該当、3000kg 以上。
その他適用法令なし	

16. その他の情報

この安全データシートは以下の規格に基づいて作成しています：

JIS Z 7253:2019	GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 -ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS)
JIS Z7252:2019	GHS に基づく化学物質等の分類方法

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。
法改正や製品の改良により、SDS を改訂する場合がございますので、改訂日が 2 年以上経過している場合は、最新版であるかどうかご確認ください。